

各地区におけるコミュニティデザインの活用の現状と問題点

No.	館名	地域性	現状	問題点
1	中央公民館	商業地区 住宅地区	平成30年度前橋市公民館運営審議会において審議会資料として配布。今年度は前橋市公民館運営審議会では諮問を行う際の資料として使用。いずれも審議会での活用には留まっている。	完成後数年の活用については把握をしていないが、現状は、コミュニティデザインを意識した事業の組み立てをおこなっておらず、事業に活かされてはいない。
2	上川淵公民館	農村地区 文教地区 医療地区	① 公民館運営推進委員会において、各委員に対し地区の資源、文化、人等の地域の特性について、コミュニティデザインを活用して説明をしている。また、地区住民の願いや思いを実現するために、公民館を中心とした地域の取り組みも紹介している。 ② 4月に人事異動による転入者に対してコミュニティデザインを活用して、説明している。 ③ 地区内外の人に対し、本市のHPを通してコミュニティデザインを活用し、当該地区の「資源」や「魅力」を発信している。	地区外の人に対し、地区の「資源」や「魅力」を発信する機会が少ないので、意識的に地区外へ発信する機会を増やす対策に取り組む必要があると感じている。
3	下川淵公民館	農村地区 商業地区	① 公民館運営推進委員会で委員に示して検討をしていたが、その後、ホームページ、館内掲示を行っている。 ② 地域の特色を紹介する際の資料として参照をしている。また、新たに異動してきた職員が、地域を知るための資料として活用している。	コミュニティデザインに書かれている内容は、地域性を表しており、地域の方はもとより、公民館職員も認識はしており、それを講座開催等に生かしているが、「コミュニティデザイン」自体を活用する場面は少なくなっているのが現状である。 どうしてもデザインが総花的になる傾向があり、どこまで特色を出していくべきか悩む部分がある。

各地区におけるコミュニティデザインの活用の現状と問題点

No.	館名	地域性	現状	問題点
4	芳賀公民館	農村地区 工業地区	① 地域資源や課題を整理したものとして、公民館運営推進委員会の資料として使用し説明をしている。 ② 異動職員に渡し、地区の特色や課題を理解するための参考資料としている。	新型コロナウイルスの影響で、3密を避ける必要からコミュニティデザインに記載の行事やそれに関係する会議も今まで通りにできないために、地域住民と協力する場や機会が減少している現状は問題と感じている。
5	桂萱公民館	農業振興地区と住宅地区の混合	① 毎年7月と3月に開催している公民館運営推進委員会の席で現行計画を示し、意見聴取している。 ② コミュニティデザインを掲げていることで、現状、地域づくりへの波及効果を意識した公民館事業を心掛けている。	①地区特性と公民館事業を散りばめたイメージパスに過ぎず、公民館経営の指針にならない点は問題である。 ②既存の中・長期計画のようなローリング期間の定めもなく、成果指標も活動指標も設けていない。したがって、年度別事業との接続も事業評価もできない。そもそもそういった設計思想になっていない。 ③本来、コミュニティデザインが意図するのは地域経営像であり、公民館事業の範疇で収まるものではないはず。その一方で、他団体との協働についての記述は乏しく、無頓着。市民SC地域づくり推進事業との棲み分けも不明瞭であり、これ単独では利用価値が低い、と考えている。

各地区におけるコミュニティデザインの活用の現状と問題点

No.	館名	地域性	現状	問題点
6	東公民館	住宅地区 商業地区	① 公民館運営推進委員会の資料として使用 ② 東公民館と群馬医療福祉大学で実施している地域連携事業の中で、学生を対象に東公民館事業の講義をする際に資料として活用した。	効果的な活用の場が少ない。
7	元総社公民館	商業地区	① 公民館運営推進委員会（第一回）の中で、地区の状況分析を重点施策の目的、またその事業成果が豊かな地域づくりに繋がっているということを説明するために使用。 ② 講座等の参集対象や内容を検討する上での参考に使用。 ③ 新任職員が担当地域の状況を把握するために使用。	左の欄以上の活用を行っていない。
8	総社公民館	工業地区	① 公民館運営推進委員会で各委員さんに説明し、いただいたご意見は随時更新している。 ② 職員が地区の現状を把握し、事業を実施するうえでの参考資料としている。	現在は参考資料としての認識しかないので、各事業担当者が年間計画を策定するための基礎資料として活用できるような工夫が必要である。

各地区におけるコミュニティデザインの活用の現状と問題点

No.	館名	地域性	現状	問題点
9	南橘公民館	農村地区 商業地区	地区公民館運営推進委員会において、委員への説明資料としている。各委員への地区状況説明資料としては効果的で、公民館の地区へのアプローチが分かる内容となっている。	【出会い・発見編】、【願い・思い編】、【仕掛ける・つなぐ編】とフェーズごとに構成しているが、公民館事業内容（青少年体験チャレンジなど）とのリンクをどうつなげていくか、また教育行政方針とのリンクも考えるなど、多面的な構成をしていくことが大事だと思う。 人事異動による館長交代時の引継ぎ内容として、このデザインを活用するのも良いのでないか。
10	清里公民館	農村地区	地区の概要及び特徴的な事業を紹介するツールとして活用。 ※活用事例（提供先） ① 講座の取材に来た新聞記者 ② 地区内の中学校に新たに赴任してきた先生 ③ 地区民生児童委員協議会	活用する機会があまりない（活用できていない。）。
11	永明公民館	農村地区 商業地区 工業地区	①公民館運営推進委員会において、運営方針や重点施策を共有するとともに、年度末の委員会では翌年度の内容について協議いただいている。 ②公民館主催事業（講座等）を行う際、内容を決めるための指標としている。 ③ホームページでの情報発信	運営方針や重点施策を、幅広い分野にわたり多くの項目をあげ整理しているため活用しづらい面もある（その年の重点キーワードのようなものを2～3個整理すると良いか？）

各地区におけるコミュニティデザインの活用の現状と問題点

No.	館名	地域性	現状	問題点
12	城南公民館	農村地区 商業地区 工業地区	コロナ渦の中でも、感染症対策を徹底しながら個々には好評を博している講座や教室もあるが、事業実施に伴いコミュニティデザインを意識した総体的な検討をあまり行っておらず活用されていないのが現状である。	公民館としての事業実施における方向性を認識し、全体的な観点からコミュニティデザインを考慮した講座や教室を実施していくため、職員間で年度当初にも共通認識を図る必要がある。
13	大胡公民館	農村地区 商業地区	① 公民館職員の人事異動に際し、異動してきた職員に対し地域資産、地域課題、社会教育を進める上での基本的な引継文書の一つとして活用している。大胡公民館職員の中に、地区出身者が一人もいないため、地域特性を学ぶためには、良い資料となっている。 ② 公民館運営推進委員会をはじめとして、地域の方に提示し、意見をいただき、改編し、生涯学習フェスティバル等で周知している。	来年度以降についてコロナ禍における行事・イベント、地域課題、環境の変化をどのように見込んで改編していくか、難しい。 【出会い・発見編】は、地区のコミュニティデザインであるが、【願い・思い編】、【仕掛ける・つなぐ編】は、公民館のコミュニティデザインであるので、地区の方には、公民館のコミュニティデザインとして、周知している。
14	宮城公民館	農村地区	① 社会教育講座の地域性を出した企画 ② 社会教育団体への情報提供 ③ 支所地域振興課との連携、情報交換（【出会い・発見編】作成は支所と協議） ④ 公民館運営推進委員会協議資料 ⑤ 生涯学習奨励員への配布 ⑥ 公民館ロビー展示及び配布（【出会い・発見編】のみ）	公表することとなり、マニフェスト的な内容となるので、実現可能なやさしい表現に変えた。

各地区におけるコミュニティデザインの活用の現状と問題点

No.	館名	地域性	現状	問題点
15	粕川公民館	農村地区	① 公民館運営推進委員会、自治会連合会、生涯学習奨励員の会議において説明し意見をもらった。 ② 職員が公民館事業を行う上でのイメージづくりに活用している。	市内各公民館のコミュニティデザインに統一性がないため、比較が難しい。1枚紙にするなどシンプルな様式に統一した方が分かりやすいし、見直しをした方が良い点などにも気づきやすい。
16	富士見公民館	農村地区	地区の自然・文化・歴史等の案内に例年、のびゆくこどものつどい等のイベントで展示し、公民館運営推進委員会で説明している。 今年度（現在まで）は、公民館運営推進委員会のみ活用した。	毎年度リニューアルしたものをイベント等で展示し、地区の歴史・特色等を伝達できたが、現在コロナ禍の中で展示する機会が無い。 コロナ禍により例年実施しているイベント等が開催できてないが、次年度以降も実施見込みのあるものについては引き続き掲載し周知したい。